

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成24年11月22日 (2012.11.22)

【公開番号】特開2010-285617(P2010-285617A)

【公開日】平成22年12月24日 (2010.12.24)

【年通号数】公開・登録公報2010-051

【出願番号】特願2010-127511(P2010-127511)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 11/00

B 4 1 M 5/00 E

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月9日 (2012.10.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 つのワックスと、  
 少なくとも 1 つの脂肪アミドと、  
 少なくとも 1 つの抗酸化剤と、  
 少なくとも 1 つの溶剤染料着色料と

を含み、前記少なくとも 1 つのワックスが、少なくとも 1 つの酸性基を有する極性ワックスを含み、該極性ワックスが、0 mg KOH / g を超える酸価及び約 60 乃至約 100 の融点を有し、前記少なくとも 1 つの極性ワックスが、カルナバ・ワックスであることを特徴とするインク組成物。

【請求項 2】

前記少なくとも 1 つの脂肪アミドが、ステアリルステアルアミド及びエチレンビス - オレアミドの両方を含むことを特徴とする、請求項 1 に記載のインク組成物。

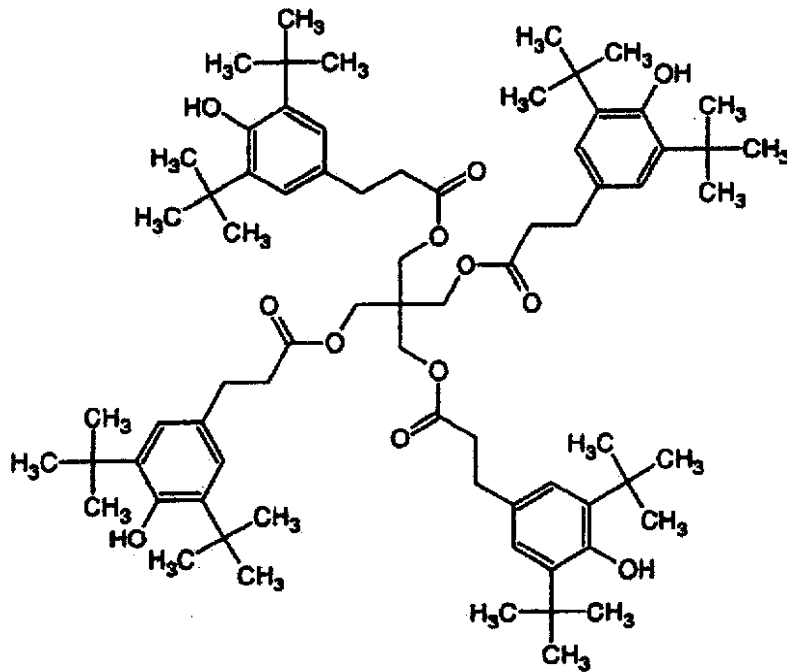
【請求項 3】

前記少なくとも 1 つのワックスが、フィッシャー - トロブシュ・ワックスをさらに含むことを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載のインク組成物。

【請求項 4】

前記少なくとも 1 つの抗酸化剤が、次式：

## 【化 1】



で表されることを特徴とする、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載のインク組成物。

## 【請求項 5】

前記少なくとも 1 つの溶剤染料着色料が、溶剤ブラック又は溶剤イエローであることを特徴とする、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載のインク組成物。

## 【請求項 6】

展色剤と、

相変化剤と、

少なくとも 1 つの酸性基を含む極性ワックスと

を含み、前記極性ワックスが、 $0 \text{ mg KOH} / \text{g}$  を超える酸価、及び  $60$  乃至  $100$

の融点を有し、前記極性ワックスが、 $100 \sim 160 \text{ mg KOH} / \text{g}$  の酸価を有することを特徴とするインク組成物。

## 【請求項 7】

前記極性ワックスが、 $97 \text{ mg KOH} / \text{g}$  を超えるけん化価をさらに有することを特徴とする、請求項 6 に記載のインク組成物。